

河北町

村山市

大石田町

尾花沢市

最上川舟運による紅花交易が育んだ 紅花文化ゆかりの地を訪ねてみましょう

最上川の中流域は、氾濫原と朝霧や朝露が降りやすい気候条件で紅花栽培に適し、沿岸の集落は紅花の主要な産地となりました。また、紅花は最上川舟運により上方に運ばれ、豊かな文化がもたらされました。紅花交易で栄えた地に行ってみませんか。



1 河北町紅花資料館

河北町

紅花染め体験や
素敵な古民家で
食事が楽しめます。
(要予約)



江戸時代、紅花商人として財を成した旧堀米邸を紅花資料館として復元した施設です。武者蔵の公開や古文書や当時の装飾品、享保雛等の展示をはじめ、紅花染めの体験や古民家で地元の農産物を使ったお食事をいただくこともできます。

河北町谷地成1143 ☎0237-73-3500 営 9:00～17:00(3月～10月)、9:00～16:00(11月～2月)
休 毎月第2木曜日(祝日の場合は翌日) 12月29日～1月3日 料 大人400円、高校生150円、児童生徒70円



2 林家舞楽

河北町

山寺建立とともに上方より伝えられた舞楽です。谷地八幡宮神職林家により一子相伝で1100余年にわたり伝承されています。9月の谷地八幡宮例大祭(谷地どんがまつり)において、厳かに奉奏され、その時に紅花染めの衣装が用いられます。

谷地八幡宮 河北町谷地224 ☎0237-72-2149
時 谷地どんがまつりに開催(敬老の日を含む3連休)

3 大石田町立歴史民俗資料館

大石田町

齋藤茂吉や洋画家 金山平三、日本画家 小松均など、大石田町にゆかりのある文学者や芸術家の作品をはじめ、江戸時代後期に描かれた「大石田河岸絵図」など、最上川舟運と紅花を積み出した大石田河岸に関する資料や雛人形等を収蔵・展示しています。



大石田町大石田乙37-6 ☎0237-35-3440

営 10:00～16:30

休 毎週月曜日(祝日は開館・祝日の翌日)、
12月29日～1月3日、展示替え時

料 大人200円、高校生・大学生150円、小中学生100円、
障がい者手帳お持ちの方及び付き添いの方2名まで無料

4 おばなざわ花笠まつり(尾花沢まつり囃子)

尾花沢市

毎年8月27日・28日に開催される「おばなざわ花笠まつり」では、花笠踊り発祥の地「尾花沢」の本物の花笠踊りが披露されます。大正時代灌漑用水「徳良湖」の築堤の際に唄に合わせて即興で振り付けられたのが始まりと言われています。また、花笠まつりの初日に行われる諏訪神社大祭。その祭囃子は、紅花交易が盛んだった頃にもたらされた宮廷の流れをくむ組曲です。諏訪神社の遷宮を祝う出し物として奉納されています。



尾花沢市商工観光課 ☎0237-22-1111

5 芭蕉、清風歴史資料館

尾花沢市



旧丸屋・鈴木弥兵衛家の店舗と母屋を復元した貴重な建物です。紅花を扱う商人で尾花沢の豪商として知られた鈴木清風と芭蕉に関する貴重な資料の収集、保存、展示を行っています。

尾花沢市中町5-36 ☎0237-22-0104

営 9:00～16:30(3月～10月)、9:30～16:30(11月～2月)

休 毎週水曜日、展示替え時、12月28日～1月4日

料 大人210円、学生100円、中学生以下無料、障がい者手帳お持ちの方大人100円

6 最上川三難所舟下り

村山市

最上川三難所(基点・三ヶ瀬・集)は流れが急で、岩盤がむき出しになっている所が多く、最上川舟運が栄えていた時代は、船頭たちに最も恐れられていた難所でした。現在は、多くの方がスリルのある舟下りを楽しんでいます。



村山市大字稲下金谷1110-2 ☎0237-56-3535

営 出航時間/10:00、11:50、14:00、16:00(1日4便)

(11月11日～4月30日の期間は10:00のみの1便となります。)

料 大人2,000円、子ども1,000円(団体割引有)

ちょっと寄りみち【産直センター】紅花切花、紅花若菜等取り扱っています。



河北町

アグリランドひな産直センター
紅花切花、紅花茶、紅花染めセットなど
紅花関連商品の販売

河北町谷地字下野281 ☎0237-85-1610
営 9:00～18:00



寒河江市

アグリランド産直センター
紅花切花の販売

寒河江市寒河江久保2 ☎0237-84-7888
営 9:00～18:00(4月～12月)
9:30～17:30(1月～3月)

休 年始



よつてけポポラ 東根市

紅花切花の販売
東根市中央東3-7-16 ☎0237-41-0288
営 9:00～17:30(6月～11月)
9:30～17:30(12月～5月)

休 1月1日～1月3日



どおりむ農園直売所 白鷹町

紅花切花、紅花若菜、紅花若菜干し、
紅花入り漬物・菓子などの販売

白鷹町畔藤9053-30 ☎0238-85-2922
営 9:00～18:00 休 1月1日～1月5日

天童市

寒河江市

芭蕉が紅花の句を詠んだ旧山寺街道や 出羽の古刹を訪ねてみましょう

芭蕉が尾花沢から山寺へ向かう途中に紅花畑を見て詠んだと言われている句碑や縁結びの観音様として親しまれている若松寺、厳かに時を刻む慈恩寺を巡ってみるのはいかがでしょうか。



1 本山慈恩寺本堂 寒河江市

天平18年(746年)にインドの婆羅門僧正が聖武天皇の勅命により開山。現在の本堂は元和4年(1618年)に山形城主最上氏が再建。室内には秘仏33体を含む多くの仏像が安置され「文化財の宝庫」と言われています。5月5日の慈恩寺舞楽では、紅花染め衣装をまとった演目も奉納されます。



寒河江市大字慈恩寺地籍31 ☎0237-87-3993 営8:30~16:00
料 大人700円・学生500円・中学生以下無料

多くの文化財
があります。

2 鈴立山若松寺 天童市

和銅元年(708年)に開山した霊場です。室町時代に入り観音信仰が栄え、最上三十三観音の第一札所霊場として隆盛を極めました。「縁結びの観音様」として有名であり、毎年多数の巡礼者が訪れています。



天童市大字山元2205-1 ☎023-653-4138

3 龍神の里・じゃがらむら 天童市



県内産のそば粉を使い、朝から打ったそばを提供しています。天ぶらも地元産の新鮮な野菜を使っています。また、生芋から加工して作った手作りのこんにゃくも期間限定で販売しております。近くの紅花畑に花が咲く7月上旬ごろ紅花まつりが開催されます。

天童市賈津1374-1 ☎023-653-0015
営 11:00~14:00(水除く、月~金) 11:00~14:30(土、日)
休 毎週水曜日

4 私の部屋 天童市

綿ハンカチ、花瓶敷き、タペストリー、絹スカートなどの素材に、輪ゴムや割り箸、将棋駒でしぼり模様や枝染めのように模様を作り、染め上げます。「紅花染め」は通年ですが、「紅花すり染め」は紅花開花時期限定となっています。



天童市本町1-1-2 天童駅前バルテ1階 ☎023-654-5045
営 10:00~18:00 休 第3月曜日

5 将棋むら天童タワー 天童市



おみやげ品や特産品の販売、お食事をしていただける施設です。また、大判のローンハンカチに紅花染料で染めていただき、その場でお持ち帰りできる紅花染教室やそば打ち体験教室、陶芸教室等の様々な体験教室もあります。

天童市久野本1273-2
☎023-653-3222
営 8:00~18:00(ドライブイン)

6 芭蕉の句碑 天童市

芭蕉が、山寺参詣の途中、紅花畑を目にして詠んだと言われている場所に句碑があります。「眉掃きを俤にして紅粉の花」は、紅花の花が化粧の時に使う刷毛の形に似ていることから眉についた白粉を落とす女性の姿を思い描いたと言われています。



天童市上荻野戸地内

7 古澤酒造資料館 寒河江市



もともとは、紅花を扱う舟運業を営っていました。天保7年(1836年)に創業した酒蔵で、資料館には、昔ながらの酒造りの道具等を展示しています。

寒河江市丸内3-5-7
☎0237-86-5322
営 10:00~16:00
休 年末年始

ちょっと寄りみち【お茶のじかん】紅花を使用したおいしい食べ物はいかがですか？

創業文久年間 文四郎麩 東根市

紅花入り ふ餅 486円(税込)

小麦に含まれるグルテンの力でふっくらもちもちに蒸した「紅花入り ふ餅」。六田地区で昔から伝わる懐かしい伝統の味です。



東根市六田2-2-20 ☎0237-42-0117

壽屋寿香蔵 東根市

紅花染めたくあん 453円(税込)

天日でじっくり干した秋大根を漬け込んだ本格的なたくあんです。たくあんの黄色は山形県の花「紅花」を使って染めています。



東根市本町6-36 ☎0237-42-0173 営 9:30~18:30

べに花茶 1袋 300円(税込)

紅花は昔から冷えに効く血行を良くする薬などに利用されていることからお茶にしました。また、乾燥させた紅花の種を焙煎することにより、香ばしく飲みやすくなっています。



販売元: 河北べに花会
取り扱い先: 河北町紅花資料館売店、
アグリランドひな産直センター

山形市

中山町

紅花栽培の発展に寄与した山寺、紅花で栄えた豪商、豪農の屋敷を巡ってみましょう

山寺の開祖慈覚大師等によって伝えられたという説のある紅花栽培。山形市や中山町には江戸時代に紅花で財を築いた豪農、豪商の屋敷が今も残っています。この地を巡って古の紅花を想像してみるのはいかがでしょうか。



1 紅の蔵 山形市



かつて紅花商人として栄えた長谷川家の蔵屋敷を活用した施設です。観光情報のもとより、旬産旬食をテーマとした食の発信、地産特産品や農産物の販売、初夏には紅花をテーマとした企画展示が行われています。

山形市十日町2-1-8 ☎023-679-5101 営店舗によって異なる 休1月1日～1月3日

産直、おみやげ、食事などが楽しめます。



4 旧柏倉家住宅 中山町



当主は九左衛門と名乗り、村山地方を代表する農家・地主であり、近世では同地方で最多級の紅花生産者となり、近代では金融業にも手を広げ豪農となりました。仏間や前蔵は、その高度な意匠や建築技術、ふんだんに用いられた漆や金箔、銘木は莫大な資産が投じられたものであり、信仰心の高さを示しています。令和元年9月に重要文化財に指定されました。(重要文化財)

中山町岡8 ☎023-687-1778(旧柏倉家住宅)

5 山寺芭蕉記念館 山形市



芭蕉が山寺を訪れてから300年を記念して平成元年に建てられました。記念館には芭蕉直筆の資料や紅花の栽培から収穫、紅もちに加工して上方まで運ぶ様子を描いた「紅花屏風」(県指定有形文化財)などを収蔵しています。喫茶コーナーでは抹茶も味わえます。

山形市大字山寺宇南院4223 ☎023-695-2221

営9:00～16:30 休不定休、年末年始、展示替のため臨時定休日 料大人400円、高校生以下無料

6 山形花笠まつり 山形市

毎年8月5日から7日まで開催される山形花笠まつりは、威勢のいい掛け声と花笠太鼓の勇壮な音色の中、山車を先頭に、あでやかな衣装の踊り手が花笠を手に華麗な群舞を繰り広げる祭りです。花笠は、紅もちをむしろに広げて干す様子を表しており、踊り手が練り歩くさまは一面紅花畑が広がる光景を再現しています。



2 宝珠山立石寺(山寺) 山形市

慈覚大師円仁が貞観2年(860年)12月、清和天皇の勅許を得て創建したと伝えられる古刹です。紅花栽培に深く関わり、比叡山との縁故から近江商人を惹きつけ、紅花交易の発展を加速させました。元禄2年(1689年)、芭蕉が弟子の曾良とともに訪れ、「閑さや岩にしみ入る蟬の声」の名句を「奥の細道」に残しています。

山形市大字山寺4456-1 ☎023-695-2843

料入山料/大人300円、中人(中学生)200円、小人(4歳以上)100円

3 立石寺根本中堂 山形市

延文元年(1356年)初代山形城主・斯波兼頼が再建した入母屋造・5間4面の建物で、ブナ材の建築物では日本最古と言われています。堂内には、慈覚大師作と伝えられる木造薬師如来坐像が安置され、伝教大師が比叡山に灯した灯を立石寺に分けたものを織田信長の焼き討ちで延暦寺を再建したときには逆に立石寺から分けたという、不滅の法灯を拝することができま。



料参拝料/200円

ちょっと寄りみち【お茶のじかん】紅花を使用したおいしい食べ物はいかがですか？

円()

円()

乃し梅本舗 佐藤屋 山形市

乃し梅

600円(税抜)～

江戸時代、紅花染めに用いるために多く栽培された梅の実を活用し、試行錯誤の末にできた元祖山形の名物菓子です。



山形市十日町3-10-36 ☎023-622-3108 営8:30～18:00

和菓子ぬまざわ 白鷹町

羊羹 日本の紅(あか)

850円(税込)

白鷹町名産の紅花を使用した色鮮やかな羊羹です。紅色羊羹には紅花の天然色素、黄色羊羹には紅花の花びらを練り込んでいます。



白鷹町大字荒砥甲716-4 ☎0238-85-2374 営8:30～18:00

白鷹町

紅花生産日本一、「日本の紅をつくる町」で 様々な体験をしてみましょう

紅花の生産日本一を誇る「日本の紅をつくる町」白鷹町では、紅花染めはもとより、和紙漉き、織機など様々な体験ができます。また、紅花が咲いている時期には紅花摘み体験もできます。



白鷹町



花摘み体験の
摘んだ量に応じて
謝礼をお渡し
します。

1 紅花の館

のんびりと農山村風景の中で田舎暮らしが体験宿泊できる会員制農家山荘です。体験メニューのみも可で、紅花染め、ドライフラワーづくり、リースづくり、紅花酒づくり等の体験の他、紅花の開花時期には紅花摘み体験もできます。

白鷹町大字十王1707-1
☎0238-85-1883
営 9:00～17:00
休 不定休

2 小松織物工房

白鷹町

全国でも珍しい「板締絰染め」という技法で絰染めを行っています。その技法は経済産業大臣指定の伝統工芸とされています。昔は織の工程を農閑期の農家に依頼していましたが、現在では染めから織りまでのすべての工程を工房で行います。約130年以上にわたり独特の技法を受け継いでいます。事前予約で体験できます。



白鷹町十王2200 ☎0238-85-2032 営 10:00～16:00 休 日・祝日

3 山峡紅の里

白鷹町



紅花をより身近なものとして感じてもらうために紅花関連商品の展示、紅花体験等行っている施設です。紅花まつり開催時には会場の一つとなり、大変きれいな紅花をご覧いただけます。

白鷹町大字十王4068-2 ☎0238-85-2102
営 9:00～17:00 休 土日祝日(予約があれば体験可)



4 深山和紙振興研究センター

白鷹町

深山和紙は楮を原料とする手漉き和紙です。その起源は約400年前で、上杉藩の御用紙として用いられました。当センターでは、和紙漉き体験や絵つけ体験などをすることができます。

白鷹町大字深山2527 ☎0238-85-3426
営 9:00～17:00(体験は10:00～17:00) 休 不定休

5 白鷹人形研究会

白鷹町

深山和紙を使った、和紙花、結びびな、まるちゃん人形を作る体験ができます。(要予約)

白鷹町大字深山1966 ☎080-2814-6968
営 5月～10月:水曜・日曜 10:00～15:00
11月～4月:水曜日 10:00～15:00



👣 ちょっと寄りみち【おかいもの】河北町紅花資料館となりの物産館をのぞいてみました



紅花染めハンカチ
大 1,600円 小 1,300円



紅花染めスカーフ 3,600円～



紅花染めチーフ 1,320円



紅花染めネクタイ 12,800円



小町紅 11,000円～



紅花染めティッシュケース 800円



卓球用紅花スリッパ 1,700円



紅花スリッパ 1,300円～

※すべて税込。この他にも紅花に関するお土産があります。